

令和2年度ジュニア・リーダー

上級研修会 感想文（抜粋）

・研修に参加して挑戦すること、相手の立場になること、準備の大切さを学びました。「やってみる」ということはとても大切だと感じました。

・私たちジュニア・リーダーが活動できるのは子ども会、担当者さん、地域の人、家族、先輩や交流してきた人たちのおかげです。みなさんに感謝し、色々な人との関わりを大切に、お世話になってきた人たちに恩返しをするために、常に笑顔で活動していきたいです。

・上級研修を終えて、ジュニア・リーダーとは行事に参加する子ども達をまとめ、楽しませる他に、その技術を後輩に伝え、より質の高いジュニア・リーダーを育成することも大切だと感じました。

・子供会や地域のイベントに参加する中で、相手をする子供も成長するが、自分自身の成長にもつながるのだと思いました。

・子供会のような縦の関係が多いと、年上の人への憧れや年齢が違う人との学び合い、年上の人から褒められて伸びるなどの子供の大きな成長が期待できます。私たちジュニア・リーダーの役割は子供達が将来少しでも人とのコミュニケーション能力が高くなったり、人と関わるのが楽しいと思ってもらえるようになるための手助けをすることだと思いました。

・ジュニア・リーダーの役割だと思うことは、子どもたちが交流し体験し、学ぶことの手助けをすることです。遊ぶことによって学ぶこともあります。学んでほしいことを主体としてゲームを考えればさらに良いと思います。そのためにも「準備」と「下見」をしっかりと行うことが重要だと思いました。

・予想外の事が起きたときに落ち着いて自分にできることを積極的に行うことが大切だと思いました。東日本大震災や東日本台風などのような災害が起きたとき、支援される側になるのではなく、支援する側になりたいと思いました。いざというときに大人の手伝いをすることも重要な役割だと思っています。研修会でおこなったKYT（危険予知トレーニング）やHUG（避難所運営ゲーム）などを生かして、すぐに状況が変化しても、そのたびに対応することを心がけたいと思います。

・子どもたちのよき理解者であり、地域社会の中に溶け込めるような存在になるために日々努力したいです。

・講義を受けて、自分自身の社会に対する考えであったり、これから生きる我々にとって大切な事とは何かということを中心に考えさせられました。

・社会が発展していく中で生活しやすい環境（ハイテクな未来）が整ってきている反面、その環境に依存してしまい、人との関わりや繋がりが少なくなっているように感じます。私は子供会等で低学年の時に地域のお兄さんやお姉さんと多く関わりをもっていたため、中学生・高校生と成長していく中でたくさんの大人や多くの方々との出会いの中でコミュニケーション能力等が大きく成長できていると実感しています。多くの人と出会う時間がたくさんあることによって、自分とはどんな人間なのかを知るきっかけになると思います。ジュニア・リーダーという存在や、ジュニア・リーダーとしての活動は本当に大切だと改めて感じました。

・ジュニア・リーダーの活動は児童の今後の成長につながる（コミュニケーション能力を育むことや思いやり、協調性について考えること）と感じると同時に、ジュニア・リーダーとして活動している中学生や高校生も児童から学ぶことも多々あると感じました。

・ジュニア・リーダーは子供と大人、子供と社会を繋げることのできる架け橋のような存在だと思います。自分自身も成長することができ、児童にも成長するきっかけを提供することのできる素敵なジュニア・リーダーでありたいと心から思いました。